

国際連携WGでの議論要旨

SMC国際シンポジウム・サイエンスアゴラ結果および国際連携について

説明概要	<u>東京モーターショーSMC国際シンポジウム(11月6日)参加結果</u> - 葛巻PD代理が「SIPにおける自動運転への展望」と題して特別招待講演を行った。また、天野国際連携WG主査が「自動運転が生み出す明日の暮らしと社会」をテーマにパネルディスカッションのモデレーターを務めた。それらの概要を報告した。 <u>科学技術振興機構主催サイエンスアゴラ(11月15日)参加報告</u> - 社会受容性醸成のために、一般市民を対象としたセッション型企画「自動走行技術が創る未来社会」を主催した。推進委員会・WG構成員4名が講演を行った後、来場者との質疑応答を行った。 <u>戦略的国際連携活動の進め方</u> - これまでに2回開催したSIP-adus Workshopなどの場を通じて、SIP-adusの関係者と欧米のキーパーソンとの接点を作ることができた。 - 今後は、平成29年度の大規模実証実験に向けた活動の重点化に合わせて、窓口を設定した国際連携の課題ごとにロードマップを作成して、SIP-adusの成果を国際標準化活動などに戦略的に打ち出していく。 - 直近の活動機会として、1月にワシントンDCで開催されるTransportation Research Boardの年次総会と同期間中に開催される日米欧の専門家会議EU-US-Japan Automation in Road Transportation Working Groupに参加する。
WGでの主な議論	<u>戦略的国際連携活動の進め方</u> - 重点化した5テーマでは、活動内容およびマイルストーンを記載した工程表を作成しており、これと連動した戦略的国際連携活動の具体的計画を立案する。 - 標準化や基準作りを担っている関連国内組織との連携を強化し、成果をタイムリーに国際的議論の場に提示できるようにする。 - 平成29年の実証実験よりも長期的な視点で将来技術を対象とした標準化の動きもあるので、時間軸を長くとった国際活動も必要である。